



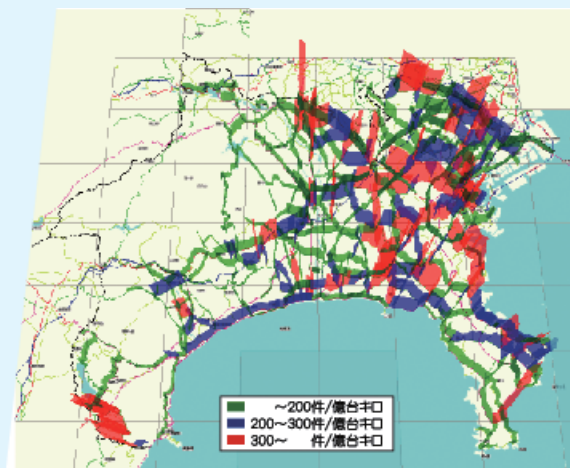
安全ドライブのびのび道路

指標 2 死傷事故率

安全なみちづくりに対するニーズが高い

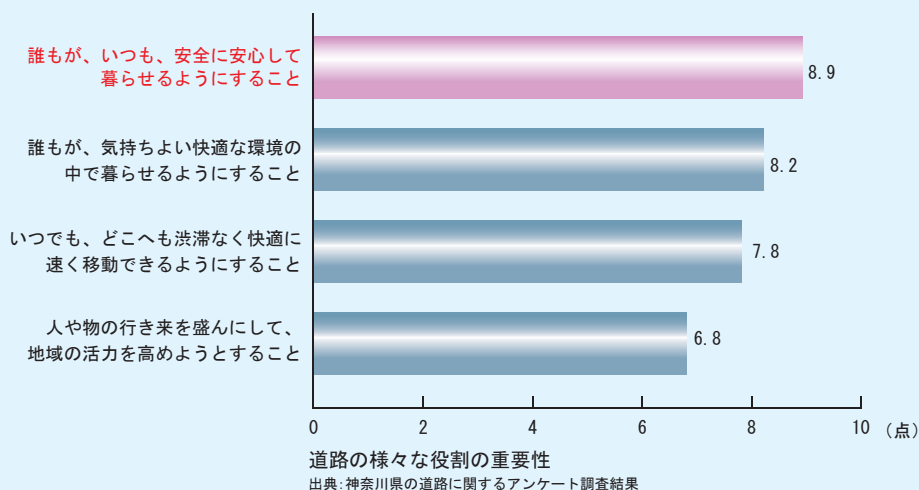
■ 事故危険箇所49箇所が未着手、あんしん歩行エリアの対策は完了

対策が必要な事故危険箇所は、各地域の国道や県道、市道において数多く残っています。



■ 県民の関心度が高い「安全なみちづくり」

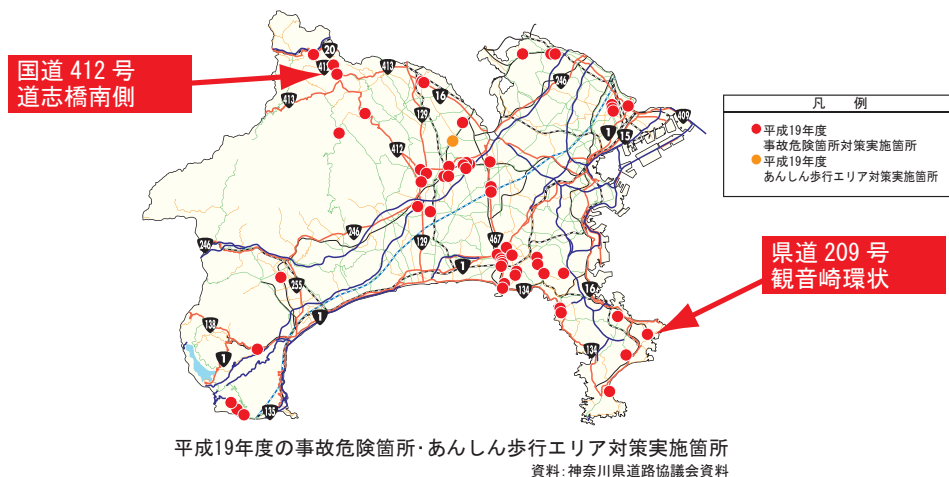
県民が道路に期待する役割は、「安全・安心」が高くなっています。



生活道路を走り抜けるトラック
出典:国土交通省 資料



55箇所事故危険箇所の対策実施！ 6箇所のあんしん歩行エリアの対策に着手！



事業例

【事故危険箇所】滑り止め舗装、視線誘導標を設置
県道209号 観音崎環状（横須賀市）



【整備前】



【整備後】

出典：神奈川県

事業例

【事故危険箇所】ガードレール、視線誘導標を設置
国道412号 道志橋南側（相模原市）



【整備前】



【整備後】

出典：神奈川県



死傷事故率が15件/億台キロ減少して 200件/億台キロを下回る

平成19年度の達成度評価

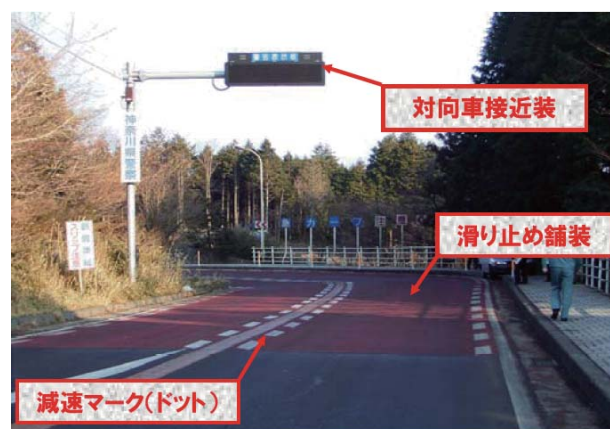
成果指標	H18年度現況値	H19年度目標値	H19年度実績値
2 死傷事故率 (H15年度現況値：241件/億台キロ)	211件/億台キロ	211件/億台キロ 【削減】	196件/億台キロ 【15件/億台キロ】

平成17年度実施事業

対向車接近装置や滑り止め舗装などを実施(国道1号【箱根町芦の湯】)



【整備前】



【整備後】

出典:国土交通省資料

平成17年度実施事業

高輝度化することにより、走行ラインをわかりやすく設置(国道16号【相模原市】)



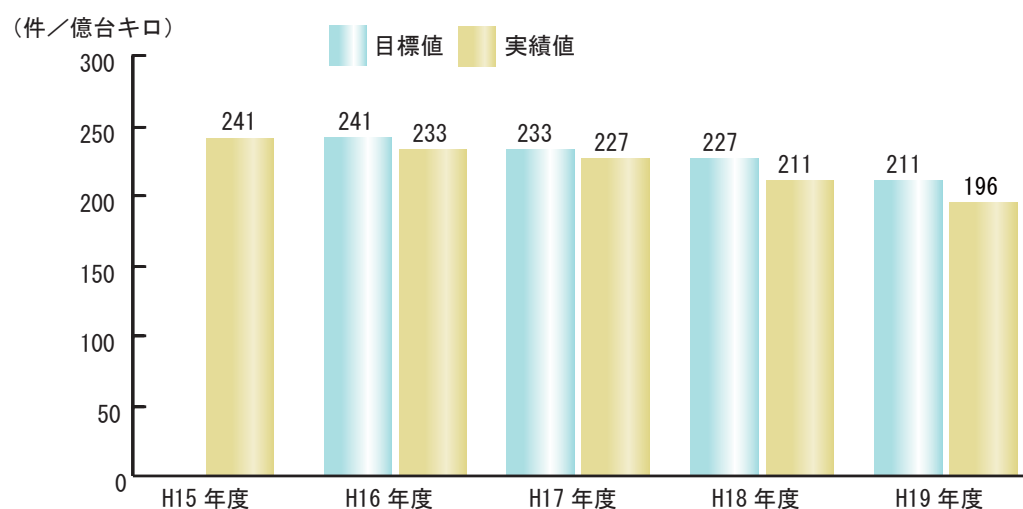
【整備前】



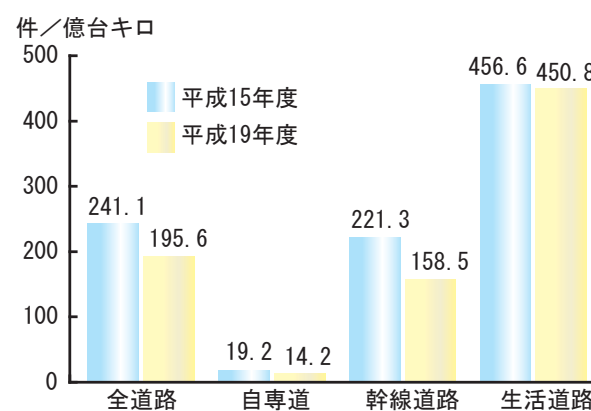
【整備後】

出典:国土交通省資料

死傷事故率は、大幅に改善され約20%削減！



死傷事故の平成15年度からの推移
資料:神奈川県道路協議会資料



平成15年度と平成19年度の道路別死傷事故率の変化
資料:国土交通省資料

平成16年度からの達成度評価

成果指標		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
2 死傷事故率 単位:件・億台キロ	目標値	-	241	233	227	211
	実績値	241	233	227	211	196